

## 基本方針

墨田区文化振興財団は、区内における芸術文化活動の振興と時代に即応した芸術文化の創造及び発信を行い区民生活の向上と文化都市の形成に寄与することを目的として平成8年に設立した。

以来、新日本フィルハーモニー交響楽団(以下「新日本フィル」という。)と連携しながら、すみだトリフォニーホールでの音楽事業や区内各所におけるアウトリーチ活動を展開しているほか、平成28年には、すみだ北斎美術館の指定管理を受託し、すみだの世界に誇る「北斎」を紹介する展覧会を中心に事業を推進している。さらに平成30年度からは地域における文化芸術活動の支援事業として、区民をはじめ幅広い文化の担い手の活動を支援すべく、助成や情報発信等を行うとともに、アートプロジェクト等の推進事業を通じたネットワークの形成に取り組んでいる。

令和4年度は、平成30年度から5年間支援を受けている文化庁の劇場・音楽堂等機能強化推進事業の最終年度となるが、すみだトリフォニーホール開館25周年、新日本フィル創立50周年を迎えることから、区、ホール、新日本フィルが三位一体となって周年事業に取り組むとともに、様々な社会的課題解決に向けた試みとして新たな事業を展開するなど、幅広い世代の区民が芸術文化を享受できる地域社会の実現を目指していく。

また、すみだ北斎美術館では、令和元年度からの新型コロナウイルス感染拡大により、臨時休館、企画展の会期変更、観覧者の減少など、大きな影響を受けてきたが、令和4年度は魅力的で質の高い企画展を実施し、観覧者数の回復に努めていく。

なお、令和4年度も新型コロナウイルス感染症の影響を受けることが予測されるため、「ウィズ・コロナ」の社会情勢を見据え、継続して感染防止対策に取り組み、財団の事業活動を停滞させることなく、すべての施設利用者に安全・安心な施設運営を目指していく。

以上の点を踏まえ、令和4年度の当財団の事業については、次の各項目を基本に実施する。

- すみだトリフォニーホール開館25周年、新日本フィル創立50周年、佐渡裕氏の新日本フィルミュージック・アドバイザー就任となる節目の年であり、区、ホール、新日本フィルが三位一体となり、あらゆる区民が音楽を身近に感じ、また、多くの区民が演奏を体験できるなど、多彩なプログラムを積極的に推進するとともに、区民にホールを知ってもらい、足を運んでもらうための広報活動を戦略的に展開していく。また、令和3年度に開始した区民モニター制度のモニター数を増やし、様々な調査分析を行うなど精度を高め、事業活動への区民意見の反映をさらに進めていく。
- すみだ北斎美術館では、企画展を年間4回開催する中で、北斎の画業の幅広さを伝えることから、学芸員の調査・研究のもとで国立能楽堂や名品を多く収蔵する佐野美術館などの協力を得て、北斎の多種多彩な鬼の作品を展示する「北斎 百鬼見参」展を開催し、“鬼ブーム”を背景に幅広い年齢層の獲得を図る。また、「常設展プラス」では、オリジナル作品の展示や立ち読みコーナーの内容を多様化することで楽しみを増すなど観覧者数増に向けた各種方策を実施していく。
- すみだトリフォニーホール及びすみだ北斎美術館で行う事業のほか、区内各所で多彩なアウトリーチ活動や教育普及活動を行い、学校や文化団体等と連携しながら地域における文化芸術活動の活性化を図る。

- 区民による文化芸術活動を支援し、助成事業や情報収集・提供事業を推進するとともに、地域で起きている様々な文化的事象を把握し、文化芸術振興に関する相談に応じて必要な情報を提供し、場と人材とをつなぐ中間支援組織としての役割を強化していく。
- 公益財団法人として、安定した財政運営のもとで、更なるガバナンスの強化とコンプライアンスの推進に努めるほか、文化芸術振興を通じたコミュニティ形成や教育・福祉・子育て支援など地域社会の課題解決に寄与していくような公益性の高い事業を展開していく。

## 事業体系

### I すみだトリフォニーホールを核とする音楽等の振興事業

- 1 音楽等の鑑賞機会の提供
- 2 区民の音楽活動の育成
- 3 区民の音楽活動への参加促進
- 4 トリフォニーホール区民モニター制度
- 5 戦略的広報活動と多彩なコミュニケーションツールを活用した情報発信
- 6 施設の利用及び維持管理等に関する業務

### II すみだ北斎美術館を核とする美術等の振興事業

- 1 資料収集・保管事業
- 2 調査研究事業
- 3 展示事業
- 4 教育普及事業
- 5 図書室運営事業
- 6 施設の利用及び維持管理に関する業務

### III 墨田区域における文化芸術活動の支援事業

- 1 すみだ文化芸術活動助成事業
- 2 「すみだ文化芸術情報サイト」の運営
- 3 文化政策及び文化事業に関する調査
- 4 アートプロジェクト等の推進事業
- 5 地域における文化芸術活動への協力及び参加

## I すみだトリフォニーホールを核とする音楽等の振興事業

当ホールは、フランチャイズ・オーケストラとの協働により、多彩な公演の実施やアウトリーチ事業を展開し、幅広い世代が芸術に触れる機会を創出するとともにすべての区民が芸術文化を享受できる地域社会の実現を目指している。

平成 30 年度より文化庁の劇場・音楽堂等機能強化推進事業にて5年間の支援を受け、文化芸術振興による「すみだ」の地域力の向上に努めている。

令和4年度は、トリフォニーホール開館 25 周年、新日本フィル創立 50 周年を迎える節目の年であり、4月より佐渡裕氏が新日本フィルのミュージック・アドバイザー(令和5年度から音楽監督)に就任する。これを好機ととらえ、区、ホール、新日本フィルハーモニー交響楽団が三位一体となって、これまで以上に積極的に各種の事業に取り組んでいく。

令和3年度から、あらゆる区民が身近に音楽を感じてもらうため、音楽事業推進補助事業を開始している。具体的には、本格的なパフォーマンスを低廉な区民割引価格で鑑賞できる親しみやすい公演、未就学児や障害者の方々を対象にした誰でもコンサート、子育てに携わる方々を支援するリラックス・コンサート、長年にわたって小中学校の音楽の授業で行ってきたアウトリーチを、クラブ活動に対象を広げて展開する墨田区内中学校吹奏楽部への演奏指導などを実施してきた。

令和4年度は、3年度の取組みに加え、佐渡裕氏を全面的に起用した開館 25 周年記念事業、音楽療法を取り入れた新たなアウトリーチ事業、音楽教諭が授業や部活動等での指導の幅を広げるためのワークショップの開催、吹奏楽部の成果発表の場となる吹奏楽合同演奏会など、フランチャイズ制度を十分に活かした先進的な試みをスタートさせる。また、3年度に引き続き、大ホールのシンボルである国内最大級のパイプオルガンを積極的に活用した鑑賞事業をはじめ、子供から大人まで、できるだけ多くの区民が自ら演奏を体験する多彩な取組みを強力に推進していく。

令和3年度から、ホール独自に約 250 名を募集し区民モニター制度をスタートさせた。開館 25 周年やパイプオルガン事業への要望をはじめ、トリフォニーホールの存在が墨田区にどのような効果をもたらしてきたのかといったアウトカムの評価に至るまで、公演ごとに行ってきたアンケート調査等では把握できない評価や意見の収集に努めている。令和4年度はモニターの数をさらに増やし、新たなアウトリーチ事業や音楽事業推進補助事業の評価など、幅広い観点から様々な調査分析を行い、モニター制度を活用した区民意見の反映を強力に進めていく。

こうした事業展開に加えて、区民にもっとホールを知ってもらい、気軽に足を運んでもらうための広報活動を戦略的に展開する。商店街など区内の様々な組織が持つ強力なネットワークを活かして、錦糸町をはじめ、墨田区内全域で地域社会との協力体制を構築し、公演内容やラインナップの情報に加えて、建築の特徴や音響特性、パイプオルガン、アート作品など、ホールの独自性や優位性となる特色を積極的に発信していく。

施設運営においては、すぐれた音響特性を堅持し、質の高い安全・快適な施設運営に努める。

また、新型コロナウイルス感染状況を踏まえた対策を継続して行い、すべての利用者に安心・安全なホールを目指し運営していく。

以上の点を踏まえ、令和4年度のすみだトリフォニーホールの事業については、以下の項目に沿って実施する。

## 1 音楽等の鑑賞機会の提供

すみだトリフォニーホールの大ホールを主な会場として、フランチャイズ・オーケストラである新日本フィルハーモニー交響楽団を活用した佐渡裕指揮開館 25 周年事業、あらゆる区民に届ける鑑賞公演、世界の第一級音楽家による芸術性の高い公演、大ホールのシンボルであり区民の財産であるパイプオルガンを活用した公演などを実施する。

また、鑑賞公演とともに親しみやすいプログラムの関連企画を実施し、区民の鑑賞機会の充実を図る。

### ■開館 25 周年記念事業(2事業3公演)【音楽事業推進補助事業】【新規】

NO	名称/時期/対象/企画趣旨	内 容	
1	<b>【名称】</b> トリフォニーホール 25th パースデーコンサート 佐渡裕指揮 新日本フィル&シエナ・ウインド・オーケストラ <b>【時期】</b> 2022年10月26日(水) <b>【企画趣旨】</b> 開館記念を祝して開催する記念公演の第1弾 佐渡裕氏の指導および指揮による以下の3部構成によるコンサート 第1部 墨田区立全中学校吹奏楽部のバンドクリニックと合同演奏会 第2部 シエナ・ウインド・オーケストラ 第3部 新日本フィルハーモニー交響楽団	会場	すみだトリフォニーホール大ホール
		指揮者	佐渡裕
		出演者	墨田区立全中学校吹奏楽部 シエナ・ウインド・オーケストラ 新日本フィルハーモニー交響楽団
		演目	マッコイ:アフリカン・シンフォニー A.リード:アルメニアン・ダンス part1&2 レスピーギ:ローマの松
		料金	全席指定 3,000 円 区民 1,000 円
2	<b>【名称】</b> トリフォニーホール開館 25 周年記念コンサート 佐渡裕指揮 トリフォニーホール「Birthday week<第九>ガラ・コンサート」 <b>【時期】</b> 2022年10月29日(土)・30日(日) <b>【企画趣旨】</b> 開館記念を祝して開催する記念公演の第2弾 佐渡裕氏と、著名アーティストのコラボレーション企画としてさだまさし氏を起用。また、すみだを象徴する「第九」を区民とともに合唱し、開館 25 周年を祝う企画  (関連企画) 10月28日(金)第九合唱公開リハーサル	会場	すみだトリフォニーホール大ホール
		指揮者	佐渡裕
		出演者	さだまさし 新日本フィルハーモニー交響楽団 すみだトリフォニーホール 25 周年記念合唱団
		演目	前半:さだまさしステージ 後半:ベートーヴェン交響曲第九番 第四楽章
		料金	S席 6,000 円、A席 5,000 円、学生 3,000 円 区民 3,500 円、区の小中高生 1,000 円

■フランチャイズ・オーケストラ活用主催公演(5事業5公演)

NO	名称/時期/対象/企画趣旨	内 容	
1	<b>【名称】</b> 新日本フィル《映画音楽》コンサート 2022 <b>【時期】</b> 2022年5月7日(土) <b>【企画趣旨】</b> 名作映画の数々を一堂に楽しめるコンサート 前半はイタリア・アメリカの名画の名曲、後半は映像と音楽の組み合わせにより、多くの映画ファンやクラシック初心者に向けて実施する。	会 場	すみだトリフォニーホール大ホール
		指揮者	竹本泰蔵
		出演者	田添菜穂子[司会]
		演 目	アンタッチャブル序曲/ニューシネマパラダイス/ゴッドファーザー組曲 ベンハー組曲(映像付)風と共に去りぬ/ローマの休日
		料 金	一般 5,000円 ペア券 8,000円 区民 3,500円 区学 1,000円
2	<b>【名称】</b> 下野竜也プレゼンツ! 音楽の魅力発見プロジェクト 第9回 讃・山本直純没後 20年「オーケストラがやっきた」 <b>【時期】</b> 2022年8月6日(土) <b>【企画趣旨】</b> 区民にホールや新日本フィルを身近に感じてもらうシリーズ企画の第9回 低料金のオーケストラ鑑賞機会を提供。毎回好評なレクチャー付きコンサートとして実施する。 (関連企画) バックステージ・ツアー、 楽器体験《誰でもオーケストラ!》	会 場	すみだトリフォニーホール大ホール
		指揮者	下野竜也
		出演者	新日本フィルハーモニー交響楽団
		演 目	山本直純/白銀の栄光(管弦楽版) 山本直純/シンフォニック・バラードほか
		料 金	全席指定 4,000円 区民 2,000円、区の小中高生 1,000円
3	<b>【名称】</b> ラトヴィア放送合唱団&新日本フィルハーモニー交響楽団 <b>【時期】</b> 2022年10月22日(土) <b>【企画趣旨】</b> ホールブランドを高める公演 ラトヴィア放送合唱団と新日本フィルとの共演で、世界最高水準の音楽に触れる機会を提供する。前半は合唱のみ、後半はオーケストラとの共演 (関連企画) ラトヴィア合唱団によるアウトリーチ事業	会 場	すみだトリフォニーホール大ホール
		指揮者	シグヴァルズ・クラウヴァ
		出演者	ラトヴィア放送合唱団
		演 目	J.S.バッハ: イエス、わが喜び リゲティ: ルクス・エテルナ ヴェアスキ: 私たちの母の名
		料 金	S席 6,000円、A席 5,000円 区民 3,500円、区の小中高生 1,000円
4	<b>【名称】</b> 綾小路きみまろ&新日本フィル ～オトナの音楽会～vol.2 <b>【時期】</b> 2022年11月6日(日)予定 <b>【企画趣旨】</b> 新たな聴衆の開拓を目的として、漫談とコンサートの2部構成で気軽にクラシックを楽しんでもらう企画 人気漫談家と新日本フィルのコラボレーションが今回も爆笑のステージとなる。	会 場	すみだトリフォニーホール大ホール
		指揮者	調整中
		出演者	綾小路きみまろ[漫談] 新日本フィルハーモニー交響楽団
		演 目	第1部 漫談 第2部 オーケストラコンサート
		料 金	S席 4,500円、A席 3,500円 区民 3,500円、区の小中高生 1,000円
5	<b>【名称】</b> すみだ平和祈念音楽祭 2023 アルミンク &新日本フィル <b>【時期】</b> 2023年3月11日(土) <b>【企画趣旨】</b> ホールブランドを高め、区民にホールや新日本フィルを身近に感じてもらう企画。関東大震災および東京大空襲で甚大な被害を被った墨田区において、開館以来回数を重ねてきた平和の祈りを音楽で発信するコンサート (関連企画) 2023年3月10日(金) ・平和祈念コンサート(区役所1階アトリウム) ・公開リハーサル 2023年3月予定 ・禁演落語(小ホール) ・上映会「東京大空襲とすみだ」(小ホール) ・アルミンクによるアウトリーチ事業 ・コンツェルトハウス・ベルリン 関連事業	会 場	すみだトリフォニーホール大ホール
		指揮者	クリスティアン・アルミンク
		出演者	萩原麻未[ピアノ] 室住素子[オルガン]
		演 目	ルクー/弦楽のためのアダージョ ラヴェル 左手のためのピアノ協奏曲 サン＝サーンス/交響曲第3番h短調作品 78「オルガン付き」
		料 金	S席 6,500円、A席 5,500円、B席 4,500円 区民 3,500円、区の小中高生 1,000円

■区民が身近に感じる公演（3事業3公演）【音楽事業推進補助事業】

NO	名称/時期/対象/企画趣旨	内 容	
1	【名称】能・文楽・歌舞伎 謡かたり「隅田川」 【時期】2022年8月13日(土) 【企画趣旨】区民にホールを身近に感じてもらう企画。能楽作品の一つ「隅田川」は文楽、歌舞伎でも隅田川物とされている名作であり、世界に誇る伝統芸能の3つが一堂に会して、特別に繰り広げられる。	会場	すみだトリフォニーホール大ホール
		出演者	杉信太郎[笛] 大倉源次郎[小鼓/人間国宝] 柿原弘和[大鼓] 豊竹咲太夫[浄瑠璃/人間国宝] 鶴澤燕三 鶴澤燕二郎[三味線] 尾上菊之助[立方]
		演目	隅田川
		料金	S席 6,000円、A席 5,000円 区民 3,500円、区の小中高生 1,000円
2	【名称】南こうせつ meets 新日本フィル 【時期】2022年9月3日(土) 【企画趣旨】区民にホールや新日本フィルを身近に感じてもらう企画。知名度の高い歌手や芸能人等と新日本フィルとの共演により、区民がより親しみやすい公演を実施する。	会場	すみだトリフォニーホール大ホール
		出演者	南こうせつ(歌手) 新日本フィルハーモニー交響楽団
		演目	前半:南こうせつステージ 後半:オーケストラとのコラボレーション
		料金	S席 7,000円 A席 6,000円 区民 3,500円 区の小中高生 1,000円
3	【名称】GODAIGO meets 新日本フィル 【時期】2023年2月4日(土) 【企画趣旨】区民にホールや新日本フィルを身近に感じてもらう企画。知名度の高い歌手や芸能人等と新日本フィルとの共演により、区民がより親しみやすい公演を実施する。	会場	すみだトリフォニーホール大ホール
		出演者	GODAIGO、新日本フィルハーモニー交響楽団 ほか
		演目	前半:GODAIGOステージ 後半:オーケストラとのコラボレーション
		料金	S席 7,000円 A席 6,000円 区民 3,500円 区の小中高生 1,000円

■あらゆる区民に届ける公演（3事業3公演）【音楽事業推進補助事業】

NO	名称/時期/対象/企画趣旨	内 容	
1	【名称】赤ちゃんも、障がいのある方も、未就学児も…みんなみんな、「ようこそ！誰でもコンサート」新日本フィル・スペシャル！ 【時期】2022年8月9日(火) 【企画趣旨】区民にホールや新日本フィルを身近に感じてもらう企画。普段コンサートホールで音楽を聴く機会の少ない層を中心に、誰もが音楽を楽しめる公演として実施する。	会場	すみだトリフォニーホール大ホール
		指揮者	坂入健司郎[指揮]
		出演者	岩崎瑞穂[司会] 新日本フィルハーモニー交響楽団
		演目	調整中
料金	一般 2,000円 区民 1,000円 未就学児、障害者とその介助者は無料		
2	【名称】新日本フィル お腹に赤ちゃんのいるお母さんのためのリラックス・コンサート 【時期】2022年10月8日(土) 【企画趣旨】区民にホールや新日本フィルを身近に感じてもらう企画。妊娠中の夫婦、子育て家庭とその子供等にリラックスできる音楽と、音楽家や専門家による出産・子育てのトークなどで、妊娠中の不安や孤立を少しでも和らげることに貢献する。	会場	すみだトリフォニーホール大ホール
		指揮者	和田一樹(予定)
		出演者	中須美喜(ソプラノ)、田添菜穂子(司会)、助産師などの専門家
		演目	胎教によいとされる作品等
料金	一般 2,000円 区民 1,000円 未就学児無料		
3	【名称】新コミュニティ・コンサート 【時期】2022年11月24日(木)・25日(金) 【企画趣旨】アウトリーチ活動の核となるコミュニティ・コンサート。学校に限らず地域コミュニティの核となる施設等にも実施会場を広げ、従来とは違う新しいスタイルを追求していく。コミュニティ・コンサートを通して、地域住民のコミュニティ活動が活発になり、住民同士の繋がりが一層深まる機会となる。	会場	区内施設等 (令和4年度はすみだトリフォニーホール 大ホールで実施)
		出演者	指揮者調整中 新日本フィルハーモニー交響楽団
		演目	調整中
		料金	無料

■トリフォニーホール自主企画公演(6事業7公演)

NO	名称/時期/対象/企画趣旨	内 容	
1	<b>【名称】</b> グレート・ピアニスト・シリーズ「エリソ・ヴィルサラーゼ」 <b>【時期】</b> 2022年11月26日(土) <b>【企画趣旨】</b> ホールブランドを高める公演 ヨーロッパで最も権威ある賞を受賞するなど評価の高いピアニストによる公演を実施する。	出演者	エリソ・ヴィルサラーゼ
		演目	調整中
		料金	S席 6,000円 A席 5,000円 区民 3,500円 区の小中高生 1,000円
2	<b>【名称】</b> トリフォニーホール パイプオルガン・クリスマス・オルガンコンサート2022 第1回 0歳児からのオルガン・コンサート 第2回 しっかりじっくりオルガン・コンサート <b>【時期】</b> 2022年12月10日(土) <b>【企画趣旨】</b> 気軽に誰もが楽しめるパイプオルガンのコンサート クリスマスにちなんだ曲や J.S.バッハなど有名なオルガン作品を演奏。未就学児と一般の回を設け、新たな客層の開拓に繋げる。	出演者	室住素子[オルガン] 井上バレエ団
		演目	チャイコフスキー/「くるみ割り人形」より抜粋
		料金	第1回:全席指定 1,000円、 未就学児無料 第2回:全席指定 1,000円
3	<b>【名称】</b> 新日本フィル・ニューイヤー・コンサート in すみだ曳舟 <b>【時期】</b> 2023年1月4日(水) <b>【企画趣旨】</b> 区民に新日本フィルを身近に感じてもらおう企画 区北部の住民や、まちづくりの進展に伴い新たに住民となった聴衆層への拡大を目的に、落語と、ニューイヤースタイルの音楽を一緒に楽しめる内容とする。	会場	曳舟文化センター 劇場ホール
		指揮者	柴田真郁
		出演者	落語家およびソリスト調整中 田添菜穂子[司会]
		演目	前半:落語 後半:オーケストラによるコンサート
料金	全席指定 4,000円 区民 3,000円、区の小中高生 1,000円		
4	<b>【名称】</b> グレート・ピアニスト・シリーズ/ゴルトベルク変奏曲 2023 「ファジル・サイ」 <b>【時期】</b> 2023年1月29日(日) <b>【企画趣旨】</b> ホールブランドを高める公演。ヨーロッパで最も権威ある賞を受賞するなど評価の高いピアニストによる公演を実施する。今回はゴルトベルク変奏曲シリーズとのダブルシリーズとして開催  <関連企画> ゴルトベルク変奏曲 2023 レクチャー(予定)	出演者	ファジル・サイ
		演目	J.S. バッハ/ゴルトベルク変奏曲 シューベルト/ピアノ・ソナタ第19番 D958
		料金	S席 6,000円 A席 5,000円 区民 3,500円 区の小中高生 1,000円
5	<b>【名称】</b> グレート・ピアニスト・シリーズ「ユリアンナ・アヴデーエワ」 <b>【時期】</b> 2023年2月26日(日) <b>【企画趣旨】</b> ホールブランドを高める公演 ヨーロッパで最も権威ある賞を受賞するなど評価の高いピアニストによる公演を実施する。  <関連企画> 区内施設などでのアウトリーチ(予定)	出演者	ユリアンナ・アヴデーエワ(ピアノ)
		演目	ショパン/ポロネーズ第7番 作品 61《幻想ポロネーズ》 シュピルマン/ピアノ組曲《ザ・ライフ・オブ・ザ・マシーンス》 プロコフィエフ/ピアノ・ソナタ第8番 作品 84《戦争ソナタ》 ほか
		料金	S席 6,000円 A席 5,000円 区民 3,500円 区の小中高生 1,000円
6	<b>【名称】</b> すみだトリフォニーホールセレクション コンテンポラリー・シリーズ <b>【時期】</b> 2023年2月調整中 <b>【企画趣旨】</b> ホールブランドを高める公演 世界的に活躍するアーティストを予定	出演者	マンハッタン・トランスファー(予定)
		演目	調整中
		料金	調整中

## ■新日本フィルとの共同主催・共催による公演

実施時期		公演名	会場
共同主催	4月9日(土)	ファミリーコンサート(指揮:宮川彬良)	すみだトリフォニーホール 大ホール
	7月18日(月・祝)	サマーコンサート(指揮:未定)	
	12月31日(土)	ジルバスターコンサート(指揮:未定)	
	2023年 1月3日(火)	ニューイヤーコンサート(指揮:未定)	

共催	通年 8回16公演	名曲を中心とした定期演奏会 4月～3月「すみだクラシックへの扉」 8回16公演	すみだトリフォニーホール 大ホール
	通年 7回7公演	定期演奏会 4月～3月<トリフォニーホール・シリーズ> 7回7公演	
	12月18日(日)	「第九」特別演奏会	

## ■共同主催公演

実施時期	公演名	会場
8月14日(日)	第12回すみだストリートジャズ・フェスティバル	すみだトリフォニーホール 大・小ホール

## ■その他共催公演(7公演程度)

実施時期	公演名	会場
6月28日(火) 6月29日(水)	エリーナ・ガランチャ スペシャル・リサイタル	すみだトリフォニーホール 大ホール
6月予定	マルタ・アルゲリッチ ピアノリサイタル(予定)	
11月27日(日)	群馬交響楽団 東京公演	
12月3日(土)	ケルティック・クリスマス 2022	
12月7日(水)	ディズニー・オン・クラシック 2022	
12月23日(金)	クリスマス☆ゴスペル 2022	

※この他、追加の予定あり。

## 2 区民の音楽活動の育成

### (1)アウトリーチ事業

新日本フィルによる区立小・中学校での音楽指導事業や新コミュニティ・コンサートのほか、区内福祉施設等によるふれあいコンサートなどのアウトリーチ活動を以下のとおり実施する。

令和4年度から新たに、音楽療法を取り入れたアウトリーチ、音楽教諭対象ワークショップを開始する。

### ■区立小・中学校での音楽指導事業

内容	会場	実施数
新日本フィル楽団員が直接学校の教室や体育館などで、小中学生を対象に演奏を行う。楽器や音楽についての興味や理解を深め、音楽を身近に感じてもらう。	区立小・中学校全校	通年 小学校 25校 中学校 11校



■新日本フィル楽団員による墨田区中学校吹奏楽部への音楽指導【音楽事業推進補助事業】

内 容	会場	期間・実施数
墨田区立中学校全 10 校の吹奏楽部に、新日本フィル楽団員が演奏指導を行う。また、吹奏楽部顧問教諭向けに楽器奏法やメンテナンス方法をアドバイスする。	墨田区立中学校 全 10 校	期間:6月～10月 (予定) 全校 10 校×2回

■音楽療法の活用 【音楽事業推進補助事業】【新規】

内 容	会場	実施数
障害のある方に、音楽を届け、音楽のもつ生理的、心理的、社会的働きを用いて、心身機能の維持・改善、生活の質の向上などの実現を図る。専門家による検証も取り入れる。	区内小中学校特別支援学級など	通年 3回(予定)

■音楽教諭対象ワークショップ 【音楽事業推進補助事業】【新規】

内 容	会場	実施数
音楽教諭が授業や部活動等での指導の幅を広げるため、ワークショップの専門家等から、実演を交えて直接的に指導や助言等を受ける。	墨田区内小・中学校	通年 10 回程度

■新コミュニティ・コンサート 【音楽事業推進補助事業】(再掲)

内 容	会場	実施数
アウトリーチ活動の核となるコミュニティ・コンサート。学校に限らず地域コミュニティの核となる施設等にも実施会場を広げ、従来とは違う新しいスタイルを追求していく。コミュニティ・コンサートを通して、地域住民のコミュニティ活動が活発になり、住民同士の繋がりが一層深まる機会となる。	区内施設等 (令和4年度はすみだトリフォニーホール大ホールで実施)	2回実施 11月24日(木) 11月25日(金)

■ふれあいコンサート

内 容	会場	実施数
演奏会に来場する機会の少ない区民を対象に、新日本フィル楽団員が区内の福祉施設等に出向いて室内楽演奏を行う。	区内福祉施設等	通年 18 か所程度

## (2)トリフォニーホール・ジュニア・オーケストラの運営

次代を担う音楽家や芸術愛好家を育成するために、トリフォニーホール・ジュニア・オーケストラを組織し、音楽監督に松尾葉子氏(指揮者)、トレーナーに新日本フィルのメンバーを迎え、定期的な練習と区内外での演奏会を3回程度実施する。

### ■トリフォニーホール・ジュニア・オーケストラ(演奏会2回程度)

実施時期	内 容
通 年	週1回程度の練習の実施
通 年	アンサンブル
10 月	区障害者(児)スポーツレクリエーション大会(吹奏楽)
10 月	学校コンサート
2023 年 3月 27 日(月)	第 31 回演奏会

## 3 区民の音楽活動への参加促進

### (1)墨田区立中学校吹奏楽部合同演奏会

新日本フィル楽団員による吹奏楽部への音楽指導と合わせて、佐渡裕氏による直接クリニックを実施し、それらの成果を開館 25 周年記念企画の一環として、すみだ中学校吹奏楽部合同演奏会で発表する。

### ■すみだ中学校吹奏楽部合同演奏会【音楽事業推進補助事業】【新規】

内 容	会場	期間・実施数
開館 25 周年記念事業の一環として、墨田区立中学校の全 10 校の吹奏楽部が、佐渡裕氏のクリニックを受け、その成果を発表する。	すみだトリフォニーホール 大ホール	10 月 26 日(水)

### (2)区民音楽祭の実施

区内音楽団体等に発表の場を提供し、その活動を支援するため、以下の事業を実施する。

### ■すみだ音楽祭(3日間)

内 容	会場	期間・実施数
区内アマチュア音楽団体にトリフォニーホールでの演奏機会を提供する。	すみだトリフォニーホール 大・小ホール	8月 21 日(日)
		8月 27 日(土)
		8月 28 日(日)

### (3)パイプオルガンの演奏体験機会の提供

区民の財産であるパイプオルガンに触れる機会を提供し、ホールやパイプオルガンを身近に感じてもらう。 ※年間 200 人目標

内 容	会 場
区民向け「パイプオルガンを弾いてみよう!!」(各6人) ・オルガン1日体験コース(6回以上) ・大人向け短期集中レッスンコース(2回) ・子供向け夏休み自由研究スペシャル(1回) 《参考》令和3年度参加者数 54名	すみだトリフォニーホール 大ホール
<b>オルガン・コンサート&amp;バックステージ・ツアー 2022-2023</b> 障害のある方や未就学児、一般区民を対象に演奏鑑賞と舞台裏の見学を実施 ・車椅子利用者、視覚障害者、聴覚障害者(各1回以上) ・未就学児(2回) ・一般区民(3回) 《参考》令和3年度8回実施 参加者数 94名	

#### 4 トリフォニーホール区民モニター制度

令和3年度、すみだトリフォニーホールが実施する事業について、区民の幅広い視点から客観的な評価を得るために区民モニター制度を導入した。250名の区民モニターは、年齢や居住地のバランスを考慮し選出した。

令和4年度は300名程度に規模を拡大し、調査結果の信頼性や有効性を高めていく。また区民モニターとの連携をより深め、効果的なネットワーク展開へとつなげていく。

##### 令和4年度 調査項目(例)

- ・新しいアウトリーチについて
- ・音楽事業推進補助について
- ・新たな音楽監督と新日本フィルについて
- ・フランチャイズ・オーケストラ、ホール、地域社会との協働について
- ・トリフォニーホールの今後の展開について など

(参考)令和3年度 調査内容

回	内 容
第1回	トリフォニーホールからの情報発信について 施設利用について 開館25周年に向けて
第2回	新日本フィルモニー交響楽団について アウトリーチ事業について パイプオルガン事業について
第3回	すみだトリフォニーホールの25年間の取組みとその効果について これからの事業展開などについて

## 5 戦略的な広報活動と多彩なコミュニケーションツールを活用した情報発信

### (1) 戦略的広報

あらゆる区民にホールを身近に感じてもらうため、現在進めている地元錦糸町の商店街(錦糸町を元気にする会)や区商連、商工会議所、地域コミュニティ、産業界、区民モニターとの連携を強化する。またまちづくりの進展に伴う新しい住民への情報提供により、区内に広範なネットワークを形成し積極的な広報活動を展開する。

### (2) 情報発信

開館 25 周年であることを最大限生かし、改めてホールの魅力を紹介し区民への周知を図る。開館 25 周年情報誌を作成するとともに、建築、アート作品、パイプオルガン、音響特性などトリフォニーホールの独自性や優位性を発信し、SNS の利便性を高めたホームページへとレベルアップを図る。

また、まちづくりの進展に伴い新たに区民となった方々や子育て中の区民などへの情報提供を積極的に行う。公式ホームページ、Facebook、Twitter、チラシ、ポスターなど、それぞれのメディア特性を活かした効果的な情報発信により、無料会員トリフォニーホール・チケットメンバーズの新規加入の促進を図り、新規来場者やリピーターの獲得を目指す。

## 6 施設の利用及び維持管理等に関する業務

質の高い安全・快適な施設運営を維持するため、委託業者との連携のもとで建物及び各種設備についての定期点検や日常点検を適切に行い、計画修繕を実施するなど、施設の良好な維持管理に努める。さらに、省資源・省エネルギー・廃棄物の減量化による施設コストの削減と、施設の安全管理の徹底、災害時や緊急時における必要な対策を講じていく。

また、新型コロナウイルス感染拡大防止のため行政機関による指示、各種ガイドラインを遵守した感染症対策を講じ、利用者やホールスタッフの安全維持に努める。

### (1) 施設利用に関する業務

ア 各施設の利用申請、承認、利用料金の徴収については、すみだトリフォニーホール条例及び同条例施行規則に基づき適正に処理をする。また、利用の適格性や利用申請の重複による優先順位を審査する「施設利用調整委員会」を定期的開催し、公平かつ公正な施設利用に努める。

イ 施設等の利用者サービスの向上を図るため、ホールへの意見・要望の共有化やサービス改善への具体的検討を行う、ホールスタッフによるミーティングを定期的開催する。

ウ 利用者が安心して利用できる施設環境を維持するため、施設内外の巡回、設備機器等の点検により安心・安全の確保を図る。新型コロナウイルス感染拡大防止のため行政機関などによる指示、各種ガイドラインを遵守した感染症対策を講じ、利用者やホールスタッフの安全維持に努める。また、急病人・怪我人等の事故が発生した場合の迅速な処理に努めるほか、地震・火災等に備え、消防計画に基づき消防訓練を実施するとともに、錦糸町第3街区4棟共同防火管理協議会の地区隊にも所属していることから、他の隊と協力して消防訓練を実施する。

エ ホールの舞台運営については、経験豊富な専門スタッフが舞台機構、舞台照明、舞台音響の各種舞台設備を安全かつ効率的に管理運営するとともに、ホールの優れた音響などの特性を活かせるよう、施設利用者に適切なアドバイスやサービスを提供しサポートする。

オ 大ホールの公演時における来館者に対するサービスとして、洗練されたホールスタッフをホールの「顔」として配置し、客席案内等の業務を遂行するほか、コロナ禍においては、来館者の検温や手指消毒等を実施するなど、来館者が安全かつ安心して公演を鑑賞できるよう、サービスを提供する。

## (2) 施設設備の維持管理

当ホールが多くの来館者が集う公共施設であることから、安全で快適なホール環境の維持に努めるとともに、コンサートホールに相応しい適正な維持管理を実施する。

また、各種設備については、日常的に点検を行い、劣化及び破損等の状況を常に把握するとともに、必要に応じて小規模修繕等を実施し、設備の機能維持及び安全の確保に努めていく。省資源・省エネルギー・廃棄物の減量化による施設コストの削減と、施設の安全管理の徹底、災害時や緊急時における必要な対策を講じていく。

## Ⅱ すみだ北斎美術館を核とする美術等の振興事業

北斎を核とした墨田区の文化芸術振興施策の重要拠点として、区と連携しながら当美術館の魅力を広く発信し、近隣の博物館等とのネットワークによる事業を展開する。あわせて、北斎を顕彰する専門美術館として関連学会等との連携をとりつつ認知度向上を図り、利用者満足度が高い展覧会・イベントを企画し実施するとともに、教育普及活動も推進していく。

長引く新型コロナウイルス感染症による影響を顧みることにより、将来の社会情勢の変化に対応すべく、館運営への影響を最小限に抑える施策を推進するとともに、北斎を契機とする国際交流の一助となるよう日本文化の紹介に努めていくほか、国内外の美術館との交流も推進していく。

令和4年度は、昨年の実績も踏まえ、開館からこれまでの実績、より安定したホスピタリティあふれる館運営を実現し、当美術館での各種事業を通じて文化芸術振興と地域の活性化に寄与することを目指していく。

- (1) 葛飾北斎の専門美術館として高いクオリティをもった事業を展開する。北斎とその門人やゆかりのある人物の資料等を活用した魅力ある展覧会を実施し、北斎の偉大な業績を顕彰、情報を発信する。また「常設展プラス」により、来館者及び収入増の実現を目指す。
- (2) 展示や普及活動を通じて地域の活性化を図り、地域の各種団体や文化施設と連携するとともに、教育、観光、産業などとも連携協力する。
- (3) 世界的に評価されている北斎の生誕地に開設された美術館としての注目度をさらに高めるために国内外に向けた情報発信と交流を促進し、これまでに友好協力協定を締結した美術館との連携をはじめ各事業における国際交流の取組み・連携を一層推進する。
- (4) 安全で快適な運営を行うための維持管理を徹底し、必要な予防措置や修繕対応を重ね、適切な施設維持管理に努めていく。
- (5) 国内利用者だけでなくインバウンドも含めコミュニケーションを大切にし、常に利用者の目線に立ち、学び、楽しめる居心地の良い施設環境の維持とサービスの提供に努めていく。

### 1 資料収集・保管事業

区の収集方針に従い、学芸員が専門性を活かしながら積極的に資料を探し出し、候補資料の調査から収集まで全面的に協力し作品収集に貢献する。また、浮世絵及び関連資料を次代へと受け継げるよう適切に収蔵品を管理・保管する。

### 2 調査研究事業

北斎を中心にその門人の作品や関連及び交流のあった人物、すみだをはじめとする北斎ゆかりの地との関わりなど、多角的な視点から調査研究し、その成果をデータベースに反映させ情報の蓄積を図り、展示や刊行物を通じて一般から専門家まで広く情報を発信していく。

### 【調査・研究の対象と視点】

- ・ 北斎のすみだをはじめとするゆかりの地との関わりについて
- ・ 北斎とその門人の肉筆画・版画・版本等の作品の調査・研究
- ・ 北斎と同時代の文化との関連の研究
- ・ 浮世絵の歴史と北斎に関わる研究

## 3 展示事業

当館の収蔵品を活かした話題性と魅力に富む展覧会を立案するとともに、講座やイベントなどの関連企画や教育普及活動との連動により、集客を意識した展示事業を実施していく。

### (1) 常設展示

北斎の生涯について実物大の高精細レプリカ作品と情報端末でわかりやすく紹介し、北斎の基本を学ぶ展示、新鮮な出会いのある展示、多様なニーズに対応した展示を目指していく。

### (2) 常設展プラス

4階企画展示室を企画展示で使用しない期間にミニ企画展を実施し、来館者に対してオリジナル作品の鑑賞機会を広げ来館促進につなげる。

### (3) 企画展示

企画展示では、北斎とその門人の作品展示を基本としながら、北斎の偉業を幅広くとらえ、多角的な展示を行い、観覧者目線に立った展示方法に取り組む。

令和4年度は年間4回の企画展において、北斎の斬新で多彩な表現が味わえる内容を提供する。各企画展では、作品保護を考慮しながら、最大期間展示することでニーズに対応し、観覧料収入の確保にも努める。今年度の特別企画となる「北斎 百鬼見参」展は、館が所蔵する初公開作品の北斎の肉筆画をはじめとする多数の館所蔵品と、他館等から貴重な肉筆画や資料等を借用し、ディスプレイなどで子どもをはじめ幅広い年齢層も興味を持てるような内容に工夫し開催していくとともに、北斎及び浮世絵の魅力を国内外に発信することによって地域の活性化に繋げていく。

### ■企画展示の年間計画

展覧会名	北斎 花らんまん
開催期間	4月1日(金)～5月22日(日)【45日間】 ※前年度より継続
観覧者数	9,600人見込
展覧会名	北斎 百鬼見参
開催期間	6月21日(火)～8月28日(日)【60日間】
展示概要	日本人は鬼の登場する創作物を、神話・伝説、芸能、小説、マンガ、アニメ、ゲームに至るまで数多く作ってきた。それだけ日本人の心に鬼は深く根ざし、その精神世界の形成に大きな影響を与えている。本展では所蔵作品を中心に初公開の貴重な北斎の肉筆や人気の浮世絵版画などを紹介し、鬼才・北斎がどのように鬼をとらえ、表現してきたかに迫る。
展示点数	約130点

主な展示資料	葛飾北斎「道成寺図」(肉筆画)、「百物語 笑ひはんにや」(版画)
観覧料	一般 1,200円
観覧者数	13, 170人見込
展覧会名	江戸の本に親しむ(仮称)
開催期間	9月21日(水)～11月27日(日)【59日間】
展示概要	江戸時代の木版摺り、和綴じの版本は現在ではなかなか流通していない。本展では和本の知識を得る入門的な展示とし、形態、初摺・後摺の違い、摸刻本、所蔵者の痕跡などを紹介し、和本に親しんでもらう機会とする。
示点数	約90点
主な展示資料	葛飾北斎『北斎漫画』(版本)、葛飾北斎『霜夜星』(版本)
観覧料	一般 1,000円
観覧者数	12, 370人見込
展覧会名	百人一首の世界(仮称)
開催期間	12月15日(木)～2月26日(日)【60日間】
展示概要	北斎最後の木版錦絵の揃物である「百人一首乳母かゑるとき」シリーズを中心に、百人一首を題材にした作品、歌人が描かれている作品、百人一首から発想を得ている狂歌本、百人一首かるたに関する作品などを紹介する。北斎と門人の作品が日本の伝統的な文化やそれを生み出した歌人についていかにとらえ、表現したか考える契機とする。
展示点数	約90点
主な展示資料	葛飾北斎「百人一首うはかゑるとき 小野の小町」(版画)、葛飾北斎「詩歌写真鏡 安倍の仲麿」(版画)
観覧料	一般 1,000円
観覧者数	12, 440人見込
展覧会名	館藏品展(仮称)
開催期間	3月14日(火)～3月31日(金)【16日間】
展示概要	未定
展示点数	未定
主な展示資料	未定
観覧料	一般 1,000円
観覧者数	3,200人見込

## 4 教育普及事業

北斎や浮世絵などへの理解促進を図ることを基本としながら、美術館活動への理解と地域や郷土を愛し誇りとする心を育むことを主眼に、多岐にわたる教育普及活動を行う。館内での活動だけでなく、教育機関との連携や、さまざまな地域活性化プログラムとも連動しながら、館外での取組みにも注力していく。

### (1) 館に親しみをもち層の拡大

各方面の幅広い層を対象に北斎をよりよく知ってもらうための各種講座、イベント、ワークショップを館内外で実施する。区内にとどまらず区外への出講も積極的に取り入れ、当館の魅力をPRするとともに、来館を促す活動を進めていく。また、国内外からの来館者が北斎への理解を深められ、障害のある方々も北斎と美術館に親しみをもてるよう、取組みを行う。

観光客も気軽に参加できるような、魅力のあるイベント、ワークショップを実施する。



## (2) 児童・生徒及び教育機関に対する取組み

区内及び区外の学校に出向いたりコロナ渦にあってはオンラインで実施したり、北斎の基礎的な情報を知ってもらう講座や、北斎を学び体験する授業等、校種、学年に応じた多彩なプログラムを実施する。学校の団体利用については教育委員会や教育研究会と連携し、北斎や展示内容に関する講義や解説を行う。

## (3) 地域との結びつきを深める取組み

墨田区の文化振興事業と連携して、美術館を地域の文化活動の拠点として活用する取組みを推進していく。地元団体等と協力することで、地域の活性化につながる活動を実施していく。

## 5 図書室運営事業

北斎に関する専門図書室として資料の収集を行い、多様な利用者の興味や関心に応えられるよう、閲覧室(開架)と書庫(閉架)を併用したサービスを行う。閲覧室(開架)では手に取りやすい一般書籍や北斎展図録を配架し、貴重書については書庫(閉架)にて保管する。

あわせて、展覧会に応じた特設コーナーや子ども向けコーナーを設けるなど、誰もが入室しやすい環境を整えて「開かれた図書室」を目指し、夏休み等の研究課題相談コーナー等を開設する。

### 【業務内容】

- ・ 図書資料の収集、整理、保存、閲覧サービス、レファレンスサービス、複写サービス等
- ・ 専用情報システムによる収蔵図書資料に関する情報提供

## 6 施設の利用及び維持管理に関する業務

各種イベントやレセプション等の開催場所として講座室等の施設を活用する。公平・平等な運営により、施設の利用促進及び利用者サービスの向上を図るとともに、美術館が連携する企画や区民の文化活動を支援するために講座室を貸し出す。

貴重な北斎作品等の資料を保管・展示する美術館として、施設管理、清掃、警備等の業務を優れた実績と経験を有する第三者に委託し、適切に施設管理業務を実施する。あわせて、集客施設として、来館者により密接なサービスを提供する受付・案内業務を繁閑等の状況に応じて、必要なポスト数をフレキシブルに調整し効率的に行う。

### Ⅲ 墨田区域における文化芸術活動の支援事業

墨田区の様々な文化芸術活動や拠点に関する情報を収集・発信し、本区に活動拠点を置く文化団体やアーティスト等の活動を支援することを目的として助成事業やサイト運営等を行う。あわせて、すみだ北斎美術館の開館を契機に始まったアートプロジェクト「隅田川 森羅万象 墨に夢」(通称:すみゆめ)の実行委員会事務局を担い、事業の円滑な推進を図る。

助成事業や「すみゆめ」等を通じて、本区を中心とする多彩な文化芸術活動の動向を把握し、文化団体やアーティスト等からの相談に応じて、場の活用提案や人材の紹介などを行っていく。多くの文化芸術活動の担い手が集い、相互にネットワークが形成され、幅広い分野で新たな活動が展開されるよう、その基盤整備に努めていく。

#### 1 すみだ文化芸術活動助成事業

区民の文化芸術活動の活性化と促進を図るため、区内に活動拠点を置く文化団体を対象とした育成事業で、翌年度に行われる活動を広く募集し、助成金交付のほか各種支援を行う。令和4年度の早期の事業実施に対応するため、活動の募集及び選考は令和3年度中に行った。

活動申請にあたっては新型コロナウイルスの影響を鑑み、企画実施に際しての感染防止対策とともに、オンラインを活用した公開手法について求めた。公募段階における申請者からの相談対応や選考委員によるヒアリング、助成活動の現地視察や評価アンケート、実施後の面談または報告会を行うことで、助成団体や活動の実態と課題を把握し、本事業の成果を検証するとともに、制度の改善に反映させていく。

##### ■実施概要

- ・ 助成対象:5人以上で構成される団体で、区民が主体となって活動していること。区内に主たる事務所又は活動拠点を有し、原則として、区内で1年以上の活動実績があること。
- ・ 助成金額:対象経費の合計額の2分の1以内で、100万円を上限とする。
- ・ 令和4年度助成予定:補助金総額 350万円、交付対象8件(申請件数 17件)

#### 2 「すみだ文化芸術情報サイト」の運営

墨田区の文化芸術情報の収集・発信を行うべく、平成26年度に開設した本サイトは、区内の官民の文化施設及び文化拠点、区内に活動拠点を置くアーティスト・文化団体情報が登録方式で集約されており、登録者が区内で行うイベント情報を掲載できる。

平成30年度より財団に事業移管されて本サイトを運用しているが、登録者数(現在159件)は微増傾向にとどまる。一方、イベント情報の掲載件数は、助成事業や「すみゆめ」との連動、文化芸術団体等が発行するメールニュースからの情報転載により急増し(年間91件)、コロナ禍における支援情報を掲載することでサイト自体の発信力も増してきた(本年度総ページビュー:61,408PV、前年比:約1.4倍)。引き続き、これら情報の充実に努めるとともに、より魅力的で活用されるサイトとなるよう、掲載内容を検討していく。

### 3 文化政策及び文化事業に関する調査

「墨田区における文化芸術振興のあり方検討調査」(平成 30 年度実施)に基づき、財団の中間支援機能を高めるために、国や東京都ほか自治体の文化政策等について継続的に情報収集を行う。また、これら施策の動向を踏まえ、財団自らが取組む事業への反映や改善に向け、必要に応じて、財団アドバイザーボードや文化政策の研究者等より意見を聴取する。

### 4 アートプロジェクト等の推進事業

令和4年度も秋のメイン期間を中心に、アートプロジェクト「隅田川 森羅万象 墨に夢」を実施するため、実行委員会の事務局運営を財団が担う。本プロジェクトでは「北斎」「隅田川」を主なテーマに、地域資源を活用する多彩な表現活動を募集し、補助金の交付や技術支援等を含め、企画の実現に向けて事務局が伴走する。また、参加団体や地域とのネットワーク形成を促す機会を設けるとともに、交流イベントや祝祭感ある企画を実行委員会の主催で行う予定である。

これまで6年間の実績を踏まえつつ区民等による主体的な活動を側面からサポートし、さまざまな場とNPOやアーティスト等文化芸術の担い手をつなぐことで、すみだの地域資源を顕在化させ、その魅力を高めていくことを目指す。

#### ■「隅田川 森羅万象 墨に夢」の実施概要（実行委員会案）

- ・ 採択企画1件あたり補助金上限 100 万円、区の施設の無料・減免での利用可、技術サポート（照明・音響、展示施工など）の相談にも応じる。
- ・ チラシ、WEB、SNS を活用した広報と、ライターによる活動レポートを配信する。
- ・ 採択企画のほか、趣旨に賛同する「ネットワーク企画」を募り、広報連携等を行う。
- ・ すみゆめ参加団体が集う「寄合」を月1回程度、各団体の活動拠点などで実施し、情報共有と意見交換を行う。
- ・ 選考委員による活動視察や公開の報告会で成果を共有し、次年度へ継承していく。

#### ■スケジュール（実行委員会案）

実施時期	内容
2022 年3月7日(月)～4月 17 日(日)	「すみゆめ 2022」企画募集
5月下旬	選考会にて採択企画を決定
6月下旬	採択企画の発表、参加団体へのオリエンテーション
9月1日(木)～12月 25 日(日)	「すみゆめ 2022」メイン期間
2023 年2月中旬	報告会

### 5 地域における文化芸術活動への協力及び参加

助成事業や「すみゆめ」等に関わる文化団体やアートNPO等に限らず、区内及び墨田区近隣で行われる文化芸術活動の状況を把握し、それら担い手との交流と情報の蓄積に努める。東京藝術大学が足立区・台東区・墨田区と連携して行った文化政策に関する勉強会「アラスミ！」や、東京都が当地域で開催した Tokyo Tokyo FESTIVAL の成果の継承など、必要に応じて地域における文化芸術活動に協力・参加していく。